

◇ ホストタウンのこれまでの主な取り組み	
H28.6月	ホストタウン登録
H28.9月	安曇野市から市長、議長、教育長がオーストリアカヌー連盟を訪問。東京オリパラでの相互交流に係る覚書を締結。
H29.11月	オーストリアカヌー連盟の会長、副会長、事務局長の3名が来訪。前川を視察したほか、園児や中学生と交流。
H30.9月	オーストリアカヌー連盟所属の女性カヌー選手2名が来訪。前川で開催されたカヌー大会にゲスト参加したほか、小中学生と交流。また、友好会主催の音楽コンサートにも出席。
H30.9月	安曇野リバープレーヤーズクラブの協力で小学生を対象にカヌー教室を開催。
H30.9月	安曇野クラムザッハ友好会主催のコンサート「チロル音楽と日本の唱歌の夕べ」開催。
R1.8~9月	長野県カヌー協会の協力で小学生を対象にカヌー教室を開催。
R1.9~10月	安曇野市から市長、議長、教育長がオーストリアを訪問。クラムザッハと同国カヌー連盟で東京オリパラ期間中の交流について懇談。



クラムザッハで交流開始当時の資料を見る宮澤市長



明南小学校で選手と児童が交流



特集◎ オーストリアを応援しよう!

友好都市の江戸川区に完成した、東京オリンピック・カヌースラローム競技会場となるカヌー・スラロームセンター

○ Interview ○



安曇野クラムザッハ友好会 会長 花村 薫さん

友好会発足から本年度で30年 ホストタウンの取り組みを機に 一層交流を深めます

本年は、日本・オーストリア友好150周年、安曇野クラムザッハ友好会30周年の節目を迎え、クラムザッハ訪問や記念コンサートを実施することができました。来年の東京オリパラでは、市民の皆さんやクラムザッハの皆さんと一緒に互いの国を応援するなかで、相互理解を深めるとともに友好の輪を広げ、これまで繋いできた絆をより一層強める機会としたいです。

また、東京オリパラを1年後に控えた本年9月28日から10月4日まで、市長、議長、教育長を含む公式訪問団がオーストリアを訪問しました。姉妹都市のクラムザッハへは、友好会訪問団22名と共に訪れ、伝統の祭り「キルヒターク」に参加するなど交流を深めました。また、東京オリパラ期間中のクラムザッハ関係者の訪日について、ツイステラー町長と宮澤市長が懇談しました。併せて、ウィーンのオーストリアカヌー連盟も

訪問し、東京オリパラに合わせた選手の派遣や、子どもたちを中心とした市民との交流について懇談しました。

東京オリパラ開催に向け ホストタウンの機運醸成に 取り組みます

東京オリパラ開催まであと8カ月。市では、オリンピック観戦ツアーや選手との交流などホストタウン事業を通じ、姉妹都市クラムザッハとの友好をより深めるとともにオーストリアカヌーチームを応援するため、機運の醸成に向けて取り組みを進めます。

市は、姉妹都市であるオーストリア・クラムザッハとの長年にわたる交流から、来年開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京オリパラ）で、オーストリアのホストタウンに登録され、特に、カヌー競技の応援に力を入れています。

本特集では、クラムザッハとの交流の歩みやホストタウンの取り組み、オリンピック出場予定のオーストリアカヌー選手を紹介いたします

ガラスが縁で始まった クラムザッハとの交流

クラムザッハとの交流は、当時旧豊科町があづみ野ガラス工房の開設に伴い、クラムザッハにあるヨーロッパで唯一の国立ガラス専門学校を視察したことが縁で始まりました。

その後、平成元年6月に双方の自治体と友好会で友好協定を結び、平成5年10月には自治体同士で友好関係を一歩前進させた姉妹都市提携を締結しました。平成19年11月には安曇野市として姉妹都市提携を結び直し、現在も自治体と民間の双方により、相互訪問などの交流が続いています。

平成25年にオリンピックの東京招致が決まると、平成27年度からホストタウンの申請受付が始まり

ました。市では、これまで長年交流してきたオーストリアを相手国としてホストタウンに名乗りを上げ、平成28年6月、正式に登録されました。

登録にあたっては、相手国との交流推進はもとより、明科の前川でカヌー競技が盛んに行われていることから、安曇野の豊かな水辺環境を市内外へ広くPRするため、カヌー競技の普及や選手との交流も計画に盛り込みました。

東京オリパラでの交流実現 に向けオーストリアを訪問

ホストタウン登録後、市では東京オリパラに向け、カヌーを通じオーストリアと交流を進めるため、オーストリアカヌー連盟の関係者やオーストリア大使を招いた